


ふりがな 氏名	ありま みゆ	都道府県	福岡県	
	有馬 弥優			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市立大学地域創生学群地域創生学類 ESD プロモート実習/メンバー ・北九州 ESD 協議会/サブコーディネーター 			
私のESD活動	KAPIC への参加や保育園・幼稚園訪問から教育の重要性を学び、現在は ESD の普及活動に取り組んでいる			

活動の概要

高校時代ではユネスコ部に所属し、部長として活動していました。部活動で KAPIC 研修(鹿児島県アジア太平洋農村研修センター)に参加し、様々なワークショップを通して、持続可能な開発のために教育が最も有効かつ効果的な手段であることを学びました。ボランティアとして行った保育園・幼稚園訪問では、子どもの素直さと周囲の環境が子どもに与える影響力の強さに気づき、幼いうちからの教育の大切さを感じました。大学の実習では、今年の6月に北九州市環境ミュージアムで行われた「未来ホタルデー」に出店し、牛乳パックを使ってエコロジーな和紙づくりを行いました。小さい子どもたちとその保護者の方々を中心とし、合計で139枚の和紙を作成しました。参加してくれた子どもたちや保護者の方々にとって、牛乳パックという普段捨ててしまうものを、新しい価値あるものに変えるという体験は、使い捨て社会を見直すきっかけになったと思います。同じく6月に北九州 ESD 協議会で行われた総会の交流会では、持続可能な社会を実現するために北九州でできることを考えるワークショップの企画・運営を実施し、私は司会として全体の進行を務めました。参加者の方々からはワークショップの企画・運営に対するお褒めの言葉をいただくことができ、参加者同士の会話の中から改めて、ESD の重要性を感じる事ができたという感想をいただきました。

○「ESD プロモート実習 Twitter」 <https://twitter.com/kitakyuESD>

○「ESD プロモート実習 Facebook」 <https://m.facebook.com/promoteesd/>

今後の活動や協働への展望

ESD・SDGsという表現はわかりにくく、日本語も理解しにくいと感じているので第一に、ESD や SDGsについて義務教育の課程で重点的に学ぶような仕組みをつくりたいと思いました。これは高校の部活動での KAPIC 研修への参加と保育園・幼稚園訪問のボランティアから、周囲を取り囲む環境が子どもたちに強く影響していると感じたことがきっかけです。幼い頃からESD・SDGsという概念に触れておくことは、SDGsへの理解を深め、行動に移すことにつながると思います。そこで持続可能な開発に関する価値観を育むことを目的とした、幼児向けの絵本の制作を行いたい。地域に関連づけた身近な内容を題材とすることで、持続可能な開発に関する価値観の創造と統一が出来るのではないかと考えています。第二に、人との関わりの中で ESD・SDGsについて知ることが出来たり、意図しなくても ESD になったりするような場所をつくりたいです。ESD・SDGsを知らない人々が、もっと気軽に ESD・SDGsに触れる機会を増やしたいと考えており、ESD・SDGsに難しいというマイナスな印象を持たないように、ESD・SDGsに取り組む方々から直接話を聞けたり、意図しなくても ESD・SDGsが出来たりする場所をつくりたいからです。私は ESD 日本ユースの一員として、ともに新しいプロジェクトを考える仲間をつくり、様々な地域をつなぐサークルをつくって地域性を生かした活動を行いたいと考えています。